



2009年4月24日

報道関係者各位

平成21年度新入社員意識調査アンケート結果

～ 新入社員セミナー受講者アンケートに基づく集計結果 ～

三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンクの三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区 社長:元田 充隆)は、毎年4月に中堅中小企業に入社した新入社員を対象としたセミナーを開催しています。本年度は、東京、名古屋、大阪にて32講座を開催いたしました。セミナー受講者1264人(企業社数430社)を対象にアンケートを実施しましたので、結果をご報告いたします。

【アンケート調査結果概要】

1. 雇用不安を背景に就労意識に変化

平成19年度を境に「定年まで同じ会社で働きたい」という意識がますます強くなってきた。この要因は、雇用不安によるものと考えられる。

2. 職場での人間関係重視に変化なし

職場における「人間関係重視」の傾向は、依然として根強く、関心の高さを物語っている。この結果は、社会情勢の変化に関係ないことが、今回のアンケートから推察できる。

詳細は、添付資料をご参照ください。

*****【お問い合わせ先】*****

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
教育事業本部 教育業務企画部 部長 田口 哲也
セミナー事業部 副部長 藤本 儀夫
〒108-8248 東京都港区港南2 16-4 品川グランドセントラルタワー
TEL. 03-6711-1272 / FAX. 03-6711-1275
E mail: seminar-t@murc.jp

添付資料

1. アンケートの調査概要

(1)平成 21 年度新入社員セミナーの参加者数		(男性)	(女性)
東京	: 491 名	279 名	212 名
名古屋	: 354 名	189 名	165 名
大阪	: 419 名	273 名	146 名
合計	1,264 名	741 名	523 名

(2)アンケートの回答状況

	(アンケート回答数)	[アンケート回答率]
東京	: 456 名	[93 %]
名古屋	: 330 名	[93 %]
大阪	: 403 名	[96 %]
合計	1,189 名	[94 %]

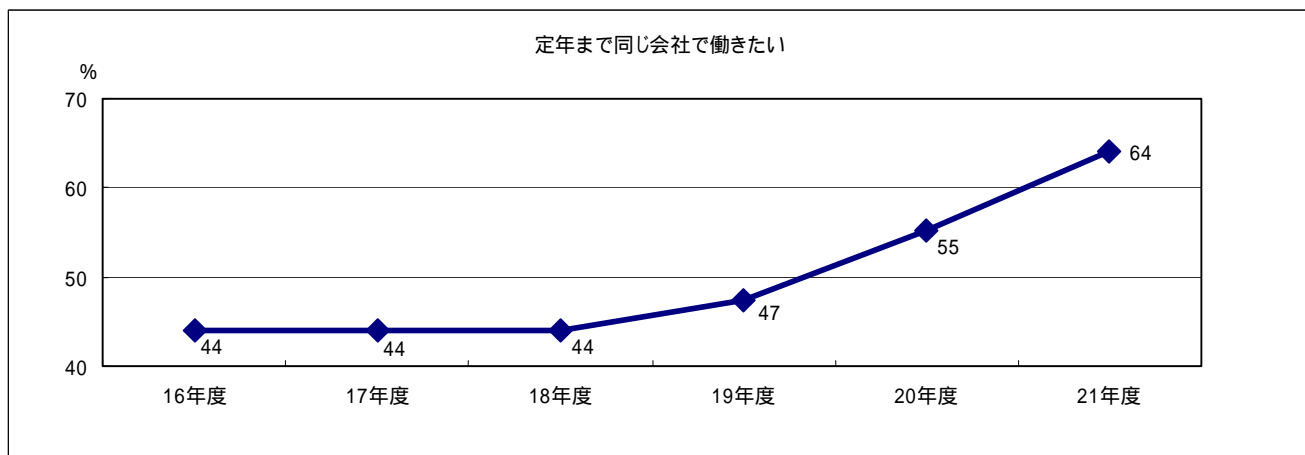
アンケートは、平成 20 年度までは東京のみ実施。平成 21 年度は、東京、名古屋、大阪で実施。

2. アンケート集計結果

(1)定年まで働きたい

平成 19 年度までは、毎年 50%以下であったが、平成 20 年度には 55%となり、平成 21 年度には 64%となり、平成 19 年度比 17 ポイント上昇した。

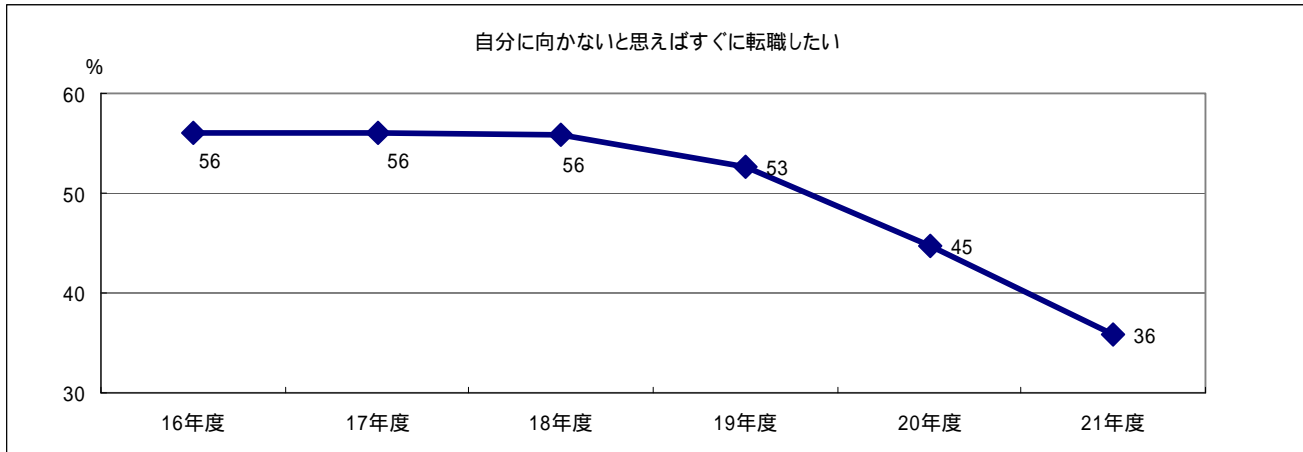
図表 1.



(2) 自分に向かないと思えば直ぐに転職したい

平成 16 年度より 19 年度までの 4 年間は 50% 以上の新入社員が直ぐにでも転職したいと考えて就職していたが、平成 20 年度には 45% と 50% を割り込み、平成 21 年度には 36% になった。

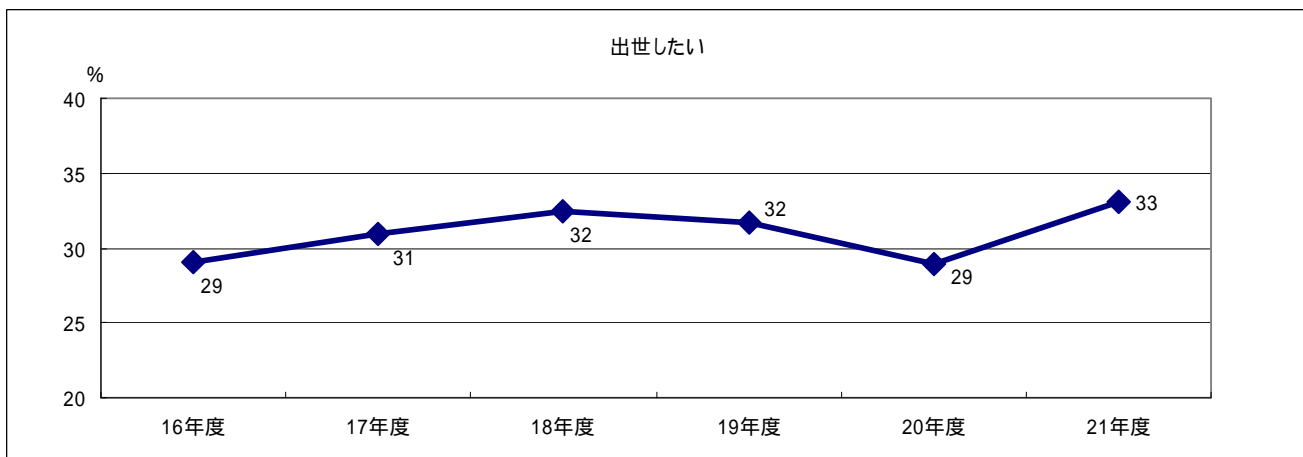
図表 2.



(3) 出世したい

平成 21 年度は 33% の新入社員が出世したいと考えており、調査開始以来、出世意欲が最も高まっている。

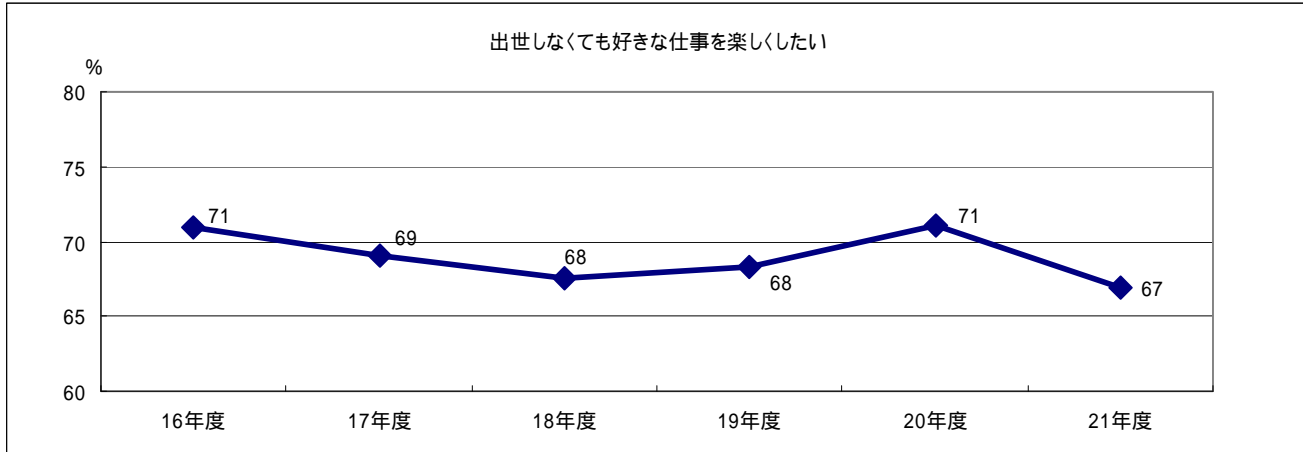
図表 3.



(4) 出世しなくとも好きな仕事を楽しくしたい

平成 21 年度は 67%の人が「出世しなくとも好きな仕事を楽しくしたい」と考えているが、平成 20 年度と比較して、4 ポイント減少、調査開始以来、最も低くなっている。

図表 4.

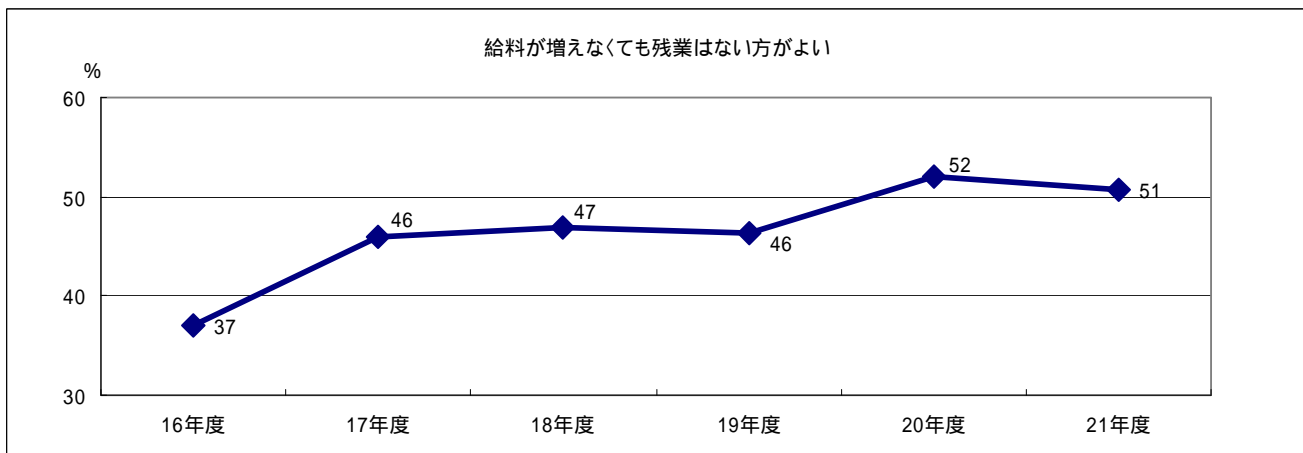


(5) 給料が増えなくても残業はない方がよい

平成 21 年度は 51%となっており、平成 16 年度と比較して、14 ポイント上昇している。

残業がない方がよいと考えている人の比率は、平成 16 年度以降平成 21 年度まで、逡増傾向を示している。

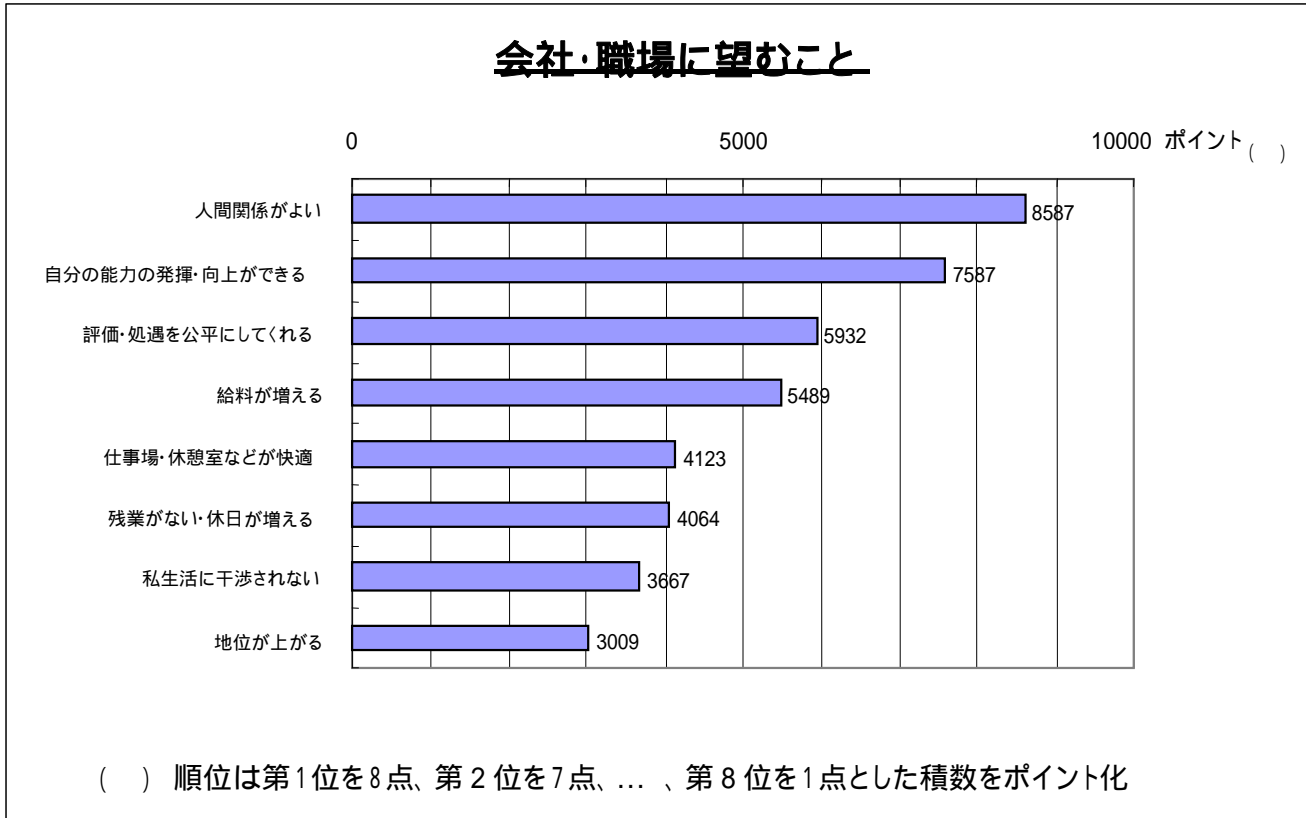
図表 5.



(6) 会社・職場に望むこと(要望の強いものから順位をつけて回答)

第1位「人間関係」、第2位「能力の発揮」、第3位「公平な処遇」以下「給料増」「快適な職場環境」「残業減・休日増」となっている。

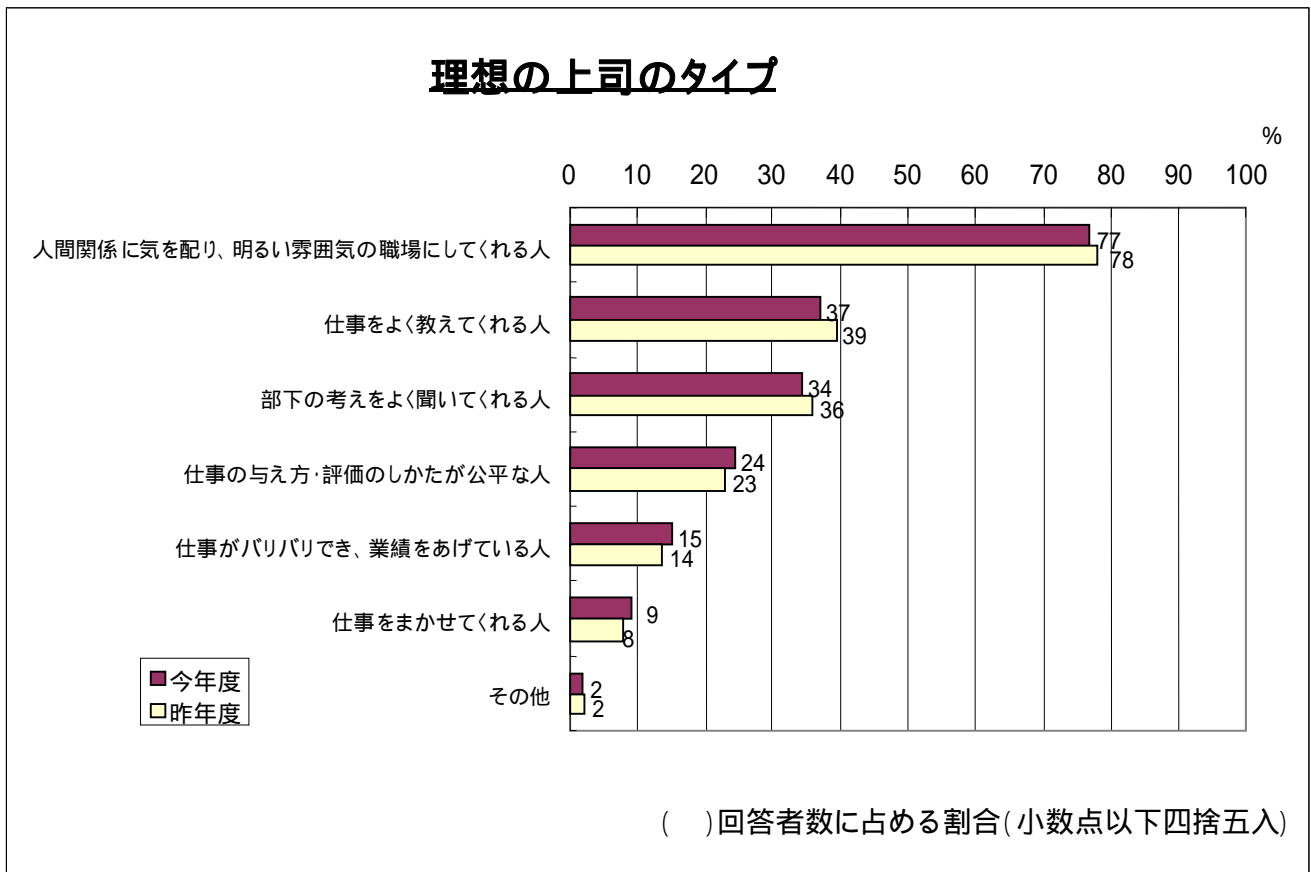
図表 6.



(7)理想の上司のタイプ(2つを選択)

人間関係重視タイプ」が昨年に引き続き第1位で回答者数の8割強が選択。
 第2位が「仕事をよく教えてくれる人」、第3位が「部下の考えをよく聞いてくれる人」となっている。
 第5位の「仕事ができる人」の選択率は、14% 15%と昨年比1ポイントの上昇に転じた。
 これは、現在の厳しい経済環境を反映か。

図表7.



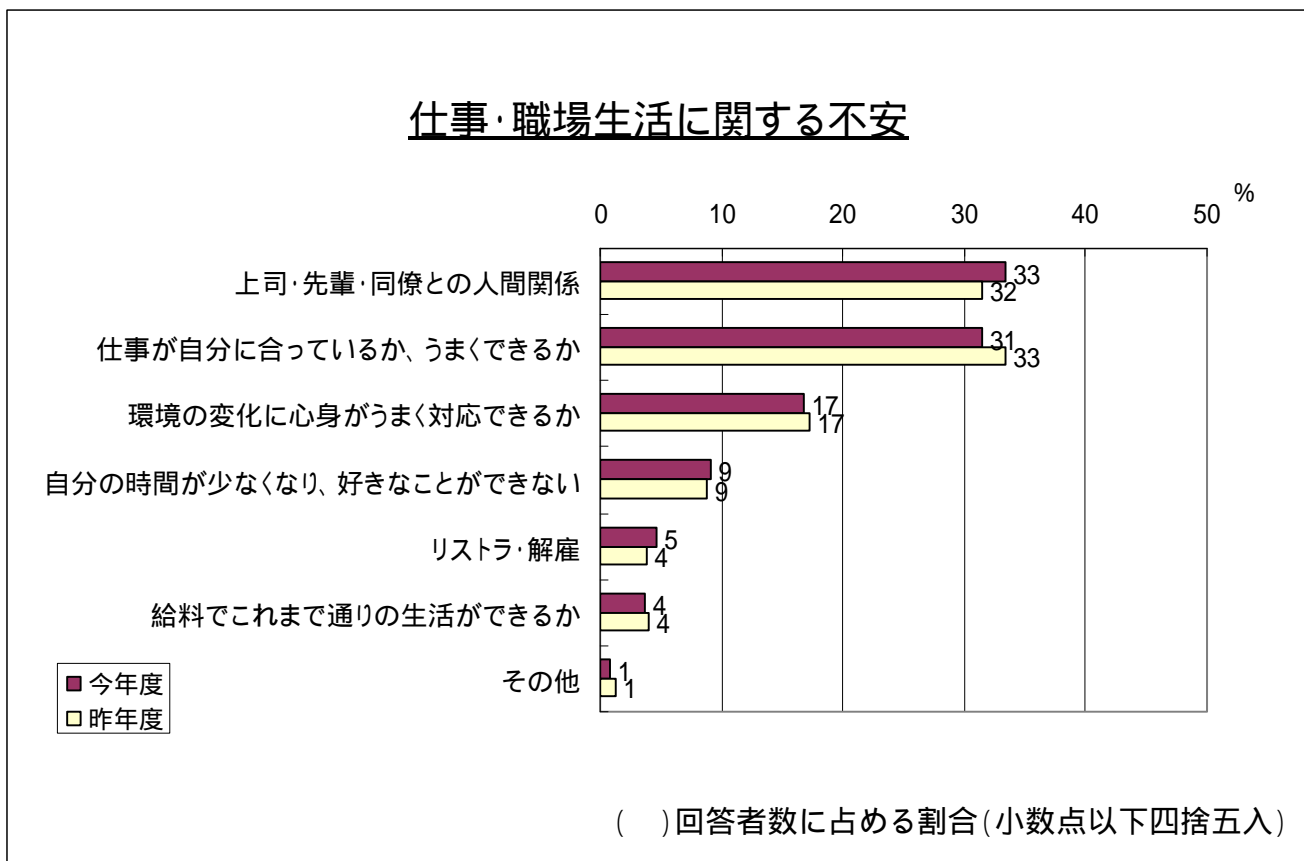
(8) 仕事・職場生活に関する不安(2つを選択)

第1位「職場の人間関係」、第2位「仕事の適性」と、昨年と順位が逆転。

第3位「環境の変化への対応」、第4位「自分の時間」と3位、4位は昨年と同順位。

第5位「リストラ・解雇」、第6位「給料でこれまで通りの生活ができるか不安」と、昨年の5位、6位の順位が逆転。

図表 8.



(9)社会人としての自分に 自信あり・自信なし (それぞれ2つを選択)

自信ありは「協調性」「忍耐力」「責任感」

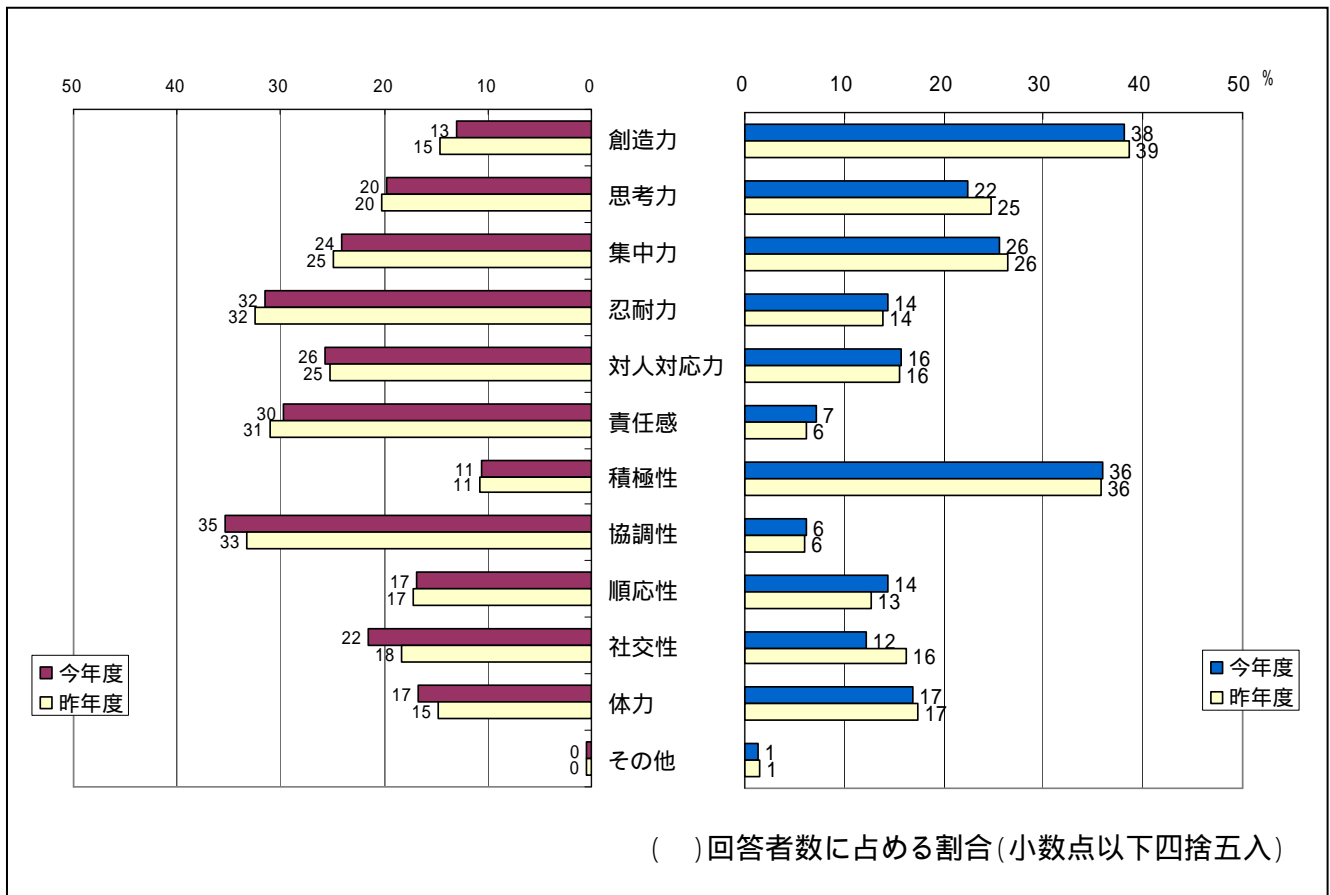
自信なしは「創造力」「積極性」「集中力」で

全体的傾向は昨年と殆んど変化なし。

図表 9.

[自信あり]

[自信なし]



以上